船舶航行支援システム特集
Special Issues
Ship Navigation Support Systems

安全・安心の航行支援機器とシステムへの取り組み

Efforts to Create Safe and Reliable Navigation Support Equipment and Systems

執行役員　海上機器事業部長
新　屋　民　保
Tamiho Shinya
Executive Officer
Marine Electronics Division

世界の大海原では多くの船舶が日夜海上輸送を担っています。近年中国の経済成長に伴い海上輸送量は増大，世界の船舶保有隻数も増大しました。しかし船舶が航行する航路は，海底地形や経済性により限られた海域となり輻輳が増えています。それぞれの船会社やクルーは安全な航海を目指し日夜努力していますが，残念ながら衝突事故や座礁事故は後を絶たず，多くの人命と財産が失われています。

国際海事機関(IMO)は，既存及び新しい電子航海支援設備を総合的に活用し人為的な海上事故を未然に防止するe-Navigation戦略の実施を検討中です。

日本無線は創業以来，安全・安心のために航行支援機器を開発，人為的ミスを防ぐと共にその性能と信頼性を高く評価され，多くのお客様に採用されてまいりました。

レーダーでは昭和27年国産初の周波数9000MHz，出力30kWの船舶用レーダーを開発し当時の運輸省航海訓練所の北斗丸に1号機を装備して以来，何世代もの機種を世に送り出しました。本技報ではレーダーと電子海図機能を統合した航海支援に最も優れ，なおかつ操作性にも優れたチャートレーダーを紹介いたします。

またGPSでは，昭和57年に国産初のGPS航法装置を世に送り出し，以後各種GPSモジュールを開発，国内カーナビでも採用トップクラスであり信頼と安定性を誇っております。本技報ではヒービング計測機能つきGPSコンパスを紹介いたします。

更にe-Navigation戦略の実施を見据えた先端ナビゲートシステム等，多くの航行支援機器とシステムを紹介いたします。

日本無線は現在までに培った技術力と豊富な経験により，お客様のあらゆる課題を解決する海上ソリューションを提供し，航海の安全・安心をお約束します。